

渋谷区
独自に

介護・障がい者施設の 減収補てんが実現 1億1450万円

2020年度一般会計補正予算（第6号）に、コロナ禍で減収になっている介護事業所、障がい者支援施設に、区独自の助成費が盛り込まれました。

新型コロナの影響による収入減や感染防止対策のための支出増で、減収となっている区内の介護事業所や障がい者施設に朗報です。

党区議団は、区独自にコロナ対策を求める区長要請や区議会本会議での質問で独自支援を求めてきました。

さらに聞こえの
調整の支援も

難聴高齢者の 補聴器購入費助成が実現へ

第3回定例会本会議の区長答弁で、来年度から難聴高齢者の補聴器購入費助成が実現することが明らかになりました。

党区議団は、昨年第2回定例会から連続して助成の実現を求めてきました。当初区長は「区として独自の助成制度を創設する予定はありません」（2019年第2回定例会）などと冷たく切り捨てました。また渋谷社会保障推進協議会（渋谷社保協）などが第1回定例会に提出した「高齢者の難聴と補聴器購入への公的支援強化を求める請願」（1037人）も不採択になっていました。

しかし、党区議団と住民の粘り強い運動が、区政を動かしました。

対象事業所

国の持続化給付金の対象（新型コロナの影響で、売上が前年同月比50%以上減少）とならない事業所

介護事業所への支援 予算：6500万円

- 複数事業所のある法人：前年同月比での減収分に対して年額上限100万円
- 単独事業所：前年同月比での減収分に対して年額上限50万円



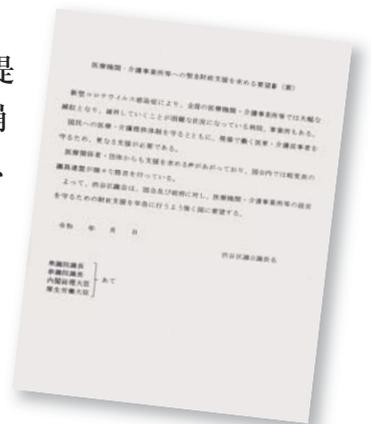
障がい者支援施設への支援 予算：4950万円

※介護事業所と同内容。

医療機関・介護事業所への財政支援を 国に求める請願が採択

渋谷社保協などが第3回定例会に提出した「経営破綻による医療・介護崩壊から国民のいのちを守るための緊急財政支援を国に要請することを求める請願」が全会一致で採択され、「要望書」（写真）が国に送付されました。

党区議団は、署名の紹介議員になるなど、請願採択に力を尽くしました。



「高齢者の難聴と補聴器購入への公的支援強化を求める請願」の本会議の表決結果（2020年3月23日）

会派名	日本共産党	自由民主党	シブヤを笑顔にする会	公明党	立憲民主党	れいわ渋谷	鈴木議員	須田議員
賛否	○	×	×	×	○	○	○	×

早めの補聴器利用が効果的

認知症予防に

社会参加
しやすく



日本共産党
渋谷区議団



いがらし千代子

幹事長
総務委員
多様性社会推進特別委員



トモ 孝二

副幹事長
文教委員、五輪・パラリンピック対策特別委員



牛尾まさみ

副幹事長
区民環境副委員長
交通・公有地問題特別委員



田中まさや

区議団長
福祉保健委員
自治権確立特別委員長

日本共産党

渋谷区議団ニュース

2020年11月・第3回定例会特集号

渋谷区宇田川町1-1 渋谷区役所内
TEL 3463-1038 FAX 5458-4963

日本共産党渋谷区議団へのご意見・ご要望を、ぜひお寄せください。

● ホームページ <http://jcp-shibuya.jp/>

富山臨海学園、山中高原学園に続いて

青少年健全育成の
責任投げ捨て

新島青少年センター廃止は許せません

長谷部区長は第3回定例会で突然、新島青少年センターを廃止すると表明しました。

新島青少年センターは、区内の青少年や区民が豊かな自然環境の中で、宿泊を通して自然に親しみ、グループ活動や親子の触れ合いを深める施設として50年運営され、新島村との交流も深めてきました。2018年度は、1701人が利用していました。区長は、昨年9月の本会議で、建て替えたいと発言していたにもかかわらず、議会にはからず、突然廃止することは到底許されません。区は再建すべきです。



台風被害前の新島青少年センターバンガロー

2019年度各会計 決算に反対

区民には負担増と福祉切り捨て 大企業に税金も土地も提供した「逆立ち」決算

2019年度の

使い残し約84億円、貯め込みは1079億円に

負担増と福祉・教育切り捨て

●国民健康保険料15年連続値上げ

年収400万円の夫婦と子ども2人世帯の保険料は、年間49万4902円に。限界を超えていると悲鳴が。

●学校給食費の値上げ

多くの自治体が値上げしない中で、小中学校給食費を値上げ。中学生は年間6万1476円に。

●スポーツセンター冷暖房使用量の有料化

無料だった大体育室などの冷暖房使用料を有料化。負担できない利用者のスポーツ権の侵害です。

●学校図書館専門員を派遣に置き換え

直接雇用の学校図書館専門員を突然解雇し、派遣に。子どもに読書の楽しさを教え、豊かな成長を育む図書司書は、正規雇用ですべての小学校に配置すべきです。

大企業には、大盤振る舞い

●渋谷駅周辺再開発

- 渋谷駅街区北側や南口北側の自由通路などに 5億8000万円
- 道玄坂駅前地区、東急のフクラス建設に 7億7500万円

●新宮下公園は三井不動産などの指定管理に

定期借地料を190億円も値引きした上に、公園管理でも三井不動産に奉仕。区民からは、「都市公園機能の後退」と批判の声が。

●北谷公園も大企業に提供

北谷公園をパークPFI方式で東急株式会社に整備させ、カフェなどでもうけさせます。



「ホテルの前庭のよう」と指摘されている新宮下公園

こんどは、美竹分庁舎跡地と美竹公園を 大企業に提供する計画が...

区は、都と一緒に渋谷地区ステップアップ事業を進めています。児童会館跡地(都有地)と区役所第二美竹分庁舎跡地と美竹公園を、民間活力を活用するとして、大企業に一体開発させて儲けさせる計画です。区民のかけがえのない土地は、福祉施設の整備など区民福祉の増進のために活用すべきです。

